

外部指導者（ベンチ入り）承認制度について

1 外部指導者（ベンチ入り）の条件

- (1) 学校の教育方針を理解し、年間を通して計画的な指導ができる者。
 - (2) スポーツ指導員等の資格を有しているか、または専門的な指導技術があると認められる者。
 - (3) 技術指導だけにとらわれることなく、生徒指導面への配慮もできると認められる者。
 - (4) 部顧問及び保護者と連携を図り、教育的な指導が望める者。
 - (5) 県中体連が指定する、外部指導者講習会を受講できる者。
- ※ 講習会受講者は県大会ベンチ入り有資格者として認め、認定証を交付する。
（3年間有効）
- ※ 認定書を所持し、学校から申請のあった外部指導者には、大会の監督会時にベンチ入り許可証を配布する。
- ※ 新体操・体操競技については複数の学校からの登録を認めている。（九州・全国も可）
試技する際補助が必要で、安全面に配慮するためである。
- ※ 陸上競技、水泳競技に関しては、複数校からの申請ができる。ただし、九州・全国大会のベンチ入りについては、1学校に限る。

2 外部指導者（ベンチ入り）の承認についての手順

- (1) 年度当初に各学校長より、地区中体連会長を通じて県中体連会長に申請する。
- (2) 県中体連評議員会で承認。（5月）
- (3) 有資格者（すでに3か年以内に講習を受けている者）であっても、各学校から地区中体連及び県中体連への外部指導者（ベンチ入り）登録申請は毎年行うこと。

3 承認の取消

1の条件から甚だしく逸脱するような事態が発生した場合には、承認を取り消すことがある。

4 その他

非常勤講師については、外部指導者講習会の受講を義務づけない。